

相談支援事業所あおば

地域支援第一課

副主任支援員 牧野 祥詠

2025年は大変お世話になりました。2026年も何卒よろしくお願ひいたします。

今回は、書籍の紹介をしたいと思います。よこはま発達グループの公認心理師・臨床心理士・精神保健福祉士である佐々木康栄先生の『場面別気になる子の保育サポートアイデアBOOK』(中央法規・2024年発行)という書籍です。子どもたちの「なんでこんな行動をするのさ?」「どうして?」の背景とその対応のヒントをセットで考えていくことができる本となっています。

保育園・こども園の先生等に主に向けた本ではありますが、根拠に基づいた普遍的な内容であるため様々な年齢の方々と関わる際のヒントになることばかりです。イラストが多く難しい専門用語も使われていないため、ご家族も気軽に読みやすいかなと思います。もし、よかつたら手に取ってみていただければ嬉しく思います。紹介文の掲載をご快諾いただきました佐々木先生、誠にありがとうございました。



2,000円(税込2,200円) ISBN 978-4-8243-0171-0

就労継続支援B型 事業所はつこう 開所日(初詣)

地域支援第一課

副主任支援員 越田 速人

令和8年1月10日(土)に諏訪神社へ初詣に行きました。利用者さんの口頃の心がけのおかげでその日は天気が良く、1人ひとりが落ち着いた様子で参拝できました。参拝後は、数名の利用者さんがおみくじを購入し、「私は、大吉だ。」「私は、吉だ。」「など嬉しそうに見せ合ったり内容を読み上げたりする様子が見られました。普段の作業時とは違う利用者さんの明るい表情や楽しい声が聞かれます。2026年を気持ちよくスタートすることができたのではないかと思います。今年も利用者さん達が安心して就労に励むことができるよう職員一同、邁進していきますのでよろしくお願ひいたします。



車いすご寄贈

地域支援推進監 工藤 慎也

令和7年11月19日、青森県火災共済協同組合様より、八甲学園へ車いすのご寄贈をいただきました。

八甲学園では5事業の運営をしていますが、その内、生活介護事業や共同生活援助(グループホーム)事業をご利用される方々の中には、歩行状態が不安定であり、外出される際にも億劫になることも見られていました。しかしこの度、利用者様のために車いすをご寄贈いただきましたことで、利用者様がこれまで以上に安心して楽しく外出できたことは、これからの充実した生活にも繋がると思います。そして、何より安全に外出ができたことで、楽しみが増え、利用者様の心身の健康状態を高めていただけたことに心より感謝申し上げます。最後に、この車いすを有効に活用し、利用者様の生活の質の向上に繋がるよう、職員一同引き続き安全に配慮しながら支援をしてまいります。



人事異動等

退職者

1/31

地域支援第一課 世話人 吉川 アツ子

苦情解決

令和7年度苦情申出状況

- ・サービスの質や量 (食事内容、サービス提供に関する不満) . . . . . 0件
- ・利用者の人間関係など . . . . . 0件
- ・職員の対応 (態度、言葉遣い等) . . . . . 0件
- ・その他 . . . . . 0件
- 合計 . . . . . 0件

令和7年度12月までの苦情解決申し出は0件でした。利用者の皆さまから寄せられた苦情については、適切な対応により、その解決にあたります。苦情及びその解決については、個人の情報にするものや申込者が拒否した場合を除き公表し、八甲学園の改善に努めます。

編集後記

令和7年度第3回目の広報誌を発行することができました。今後も利用者のニーズに応じたサービスを展開して参ります。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。今回の題字は、就労継続支援B型事業所の相馬理沙さんと就労B利用者です。※掲載されている写真はすべて、ご本人・保護者様の了解を得ております。



〒030-0132 青森県青森市大字横内字桜峰63番地1号 お問い合わせ: TEL 017-738-2104 FAX 017-738-2116



題字 相馬理沙さんと就労B利用者(就労継続支援B型事業所)

クリスマス会



12月23日、入所の大イベント、クリスマス会を開催しました。ここ数年間は子ども達の感染症のタイミングが重なり全員での参加ができないうことが続きましたが、今年度は久しぶりに全員揃ってクリスマス会を開催することができました。

前日から子ども達はソワソワしており、華やかなイルミネーションを目の前に、クリスマス会をとても心待ちにしていました。当日は寿司、キリン、ケーキといった種類豊富なごちそうを目の前に、子ども達は大喜びで口いっぱい頬張っていました。

アトラクションでは、子ども達の歌、ダンス、弾き語りなどを披露し、職員はダンス、バルーンアート、バンドを披露しました。子ども達も職員と共に本番にむけて練習を一生懸命頑張ってきた成果もあり、大変盛り上がりました。

そして、最後に待ちに待ったサンタさんからのプレゼントタイムがあり、子ども達はサンタさんからプレゼントをもらって嬉しく中身を確認し、「やった〜!」と喜んでいました。

皆さんのご協力のおかげで、今年のクリスマス会も大成功に終えることができ、子ども達の楽しそうな様子が見られて嬉しく思っています。

最後に御来賓の方、会場設営をさせていただいたボランティアの方のご協力並びに賛同していただいた方から数々のご寄贈をいただきましたこと心より御礼を申し上げます。

こども支援課 支援員 田中 聖也

### 就労継続支援B型事業所 はっこうく忘年会

地域支援第一課副主任支援員 越田 速人  
12月5日、忘年会を行いました。利用者さん  
同士の交流や心身のリフレッシュ、作業意欲及  
び生産性の向上を図ることを目的とし、今年も、  
「焼肉オー小柳通本店」で開催しました。

普段、就労場所がそれぞ  
れ異なり、なかなか顔を合  
わせることが無い利用者さ  
ん達もいるので、久しぶり  
に皆さんが揃つのを何日も  
前から楽しみにしていまし  
た。

午前の作業を終えた後、  
バスで会場へ移動し、三浦  
園長の乾杯の音頭で忘年会  
の始まりです。美味しい食  
事に利用者の皆さんも自然  
と笑顔がこぼれ、会話も止  
まらず、とても和やかな昼  
食となりました。食事の後  
は事業所に戻り、DVDを  
鑑賞しながら楽しい時  
間を過ごしました。

寒い中、就労を頑  
張ってくれている利用  
者さん達から、「今  
年の忘年会も楽しかつ  
たー」との好評の声を  
たくさん頂き、皆さん  
にとっても気持ちよく  
1年を締めることがで  
きたのではないかと感  
じています。



### 生活介護事業所はっこう くクリスマス会

地域支援第一課 支援員 横山 雅彦  
12月の開所日では、クリスマスツリーの飾りつけをし  
たり、お菓子釣りゲームをしたり、クリスマスを楽しみ  
ました。ツリーの創作では、各班に分かれて、どんな飾  
りにしようか考えながら飾っていくと華やかなクリスマス  
ツリーができあがり、皆さん嬉しそうでした！

お菓子釣りゲームでは、自分の食べたお菓子を狙つ  
て、糸を垂らし、集中しながら釣り、GETできると満  
面の笑みで大喜び。  
ゲームを楽しんだ後の昼食は、「喜三」のお弁当を食  
べました。お弁当の中身は、チャーハン、マポーナス、  
チャーシューなどの品数豊富なおか  
ずが入っていて、「うん、すごく美味  
しい」、「また、このお弁当が食べた  
い」と嬉しそうに話す利用者さんが多  
くいらっしゃいました。

今回の開所日で今年度最後となりました。  
参加していただいた皆さん、あ  
りがとございました。今年度の開所  
日には、ホタテ広場や夏泊半島大島、  
フラッセ等たくさん場所へ行つてき  
ました。今後も利用者さんが楽しめる  
内容の開所日を考えていきたいと思  
います。



### 生活介護事業所 はっこうく忘年会

地域支援第一課 支援員 秋元 早紀  
年末年始の前に、A・B・Cグルー  
プ各々で忘年会を行いました。

Aグループでは、ゲーム活動にてカ  
ラオケ、干本引き、新聞じゃんけんを  
行い、みんなで合唱したり、じゃんけ  
んをしたりして盛り上がり、昼食では  
BBQでお肉をたくさん食べました。  
調理活動では、オリジナルデコレ  
ーションケーキを作り、「上手にでき  
た」、「ケーキ美味しかった」と大  
喜びでした。

Bグループでは、音楽活動にて「カ  
リスマックス」や「倍倍ファイト」の  
曲を流し、ポンポンを持ち、動画を  
見ながら全力で踊り、昼食は「ほつと  
もつと」のオードブルを皆さんで  
食べ、中には、食べたいおかずを  
カードで要求する方もいらっしゃ  
いました。午後はお菓子づくり  
ゲームを行い、好きなお菓子をス  
コップで上手にすくっていました。

Cグループでは、2つの班に分  
かれて、カフォケ合衆国や浅虫水  
族館へ行き、昼食は札幌館のラー  
メンを食べました。好きな曲  
を熱唱したり満面の笑みでイルカ  
ショーを見たりと表情よく過ごされ  
ていました。

大きな行事ということもあり、どの  
グループのスタッフも張り切って準備  
をしたので、利用者さんの喜んでい  
る姿が見られて、とても嬉しい気持ちに  
なりました。  
皆さん、今年1年間お疲れさまでした。

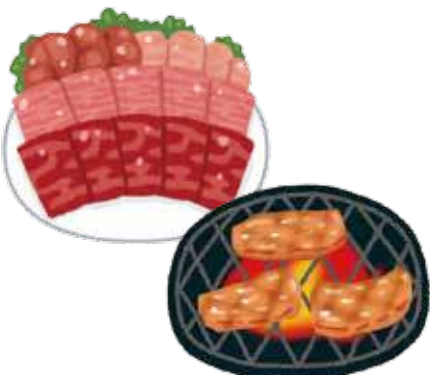


### 共同生活援助事業所サンハウス 利用者の会「はっぴい」

地域支援第一課 支援員 落合 奈々美  
正月も終わり、仕事始めから1月も半分まで過ぎた  
頃、グループホーム利用者の会「はっぴい」主催の新年  
会が開催されました。開催場所は、観光通りの「焼肉  
きんぐ」です。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動の  
自粛期間を経て5年ぶりの開催となり、職員を含め22  
名の方が参加しました。

皆さんが席に着いて、各自注文した飲み物が手元  
にきたのを確認したのち利用者さんの「乾杯〜」の  
声と同時に新年会が始まりました。運ばれて来た焼肉を  
焼きながら、日頃、別々のグループホームに入居され  
ている利用者さん同士の雑談が始まり、「外食するの  
ひさしぶり」、「焼肉屋で食べるのが初めて」など笑顔  
で食べていました。飲み物もアルコール、ジュースそれ  
ぞれで「ちよつと飲みすぎじゃないか」などの笑い声が  
溢れ、大変楽しそうに過ごされていました。

残りの時間を談笑しながら過ごすうちに終わりの  
時間になり、利用者さんが挨拶をしてお開きになりま  
した。帰りに満足気な表情の利用者さん達から「楽し  
かった」、「美味しかった」との声が聞こえてきました。  
今年も皆さんにとってとても良い年でありませう。



### 冬休みを振り返って

12月24日より冬休みが始まりました。児童達も楽しみにしていた長期休みです。  
今回は、学園内で実施したイベントを紹介したいと思います。

まずは、調理体験で餃子の皮ひざ、パフエ作りを行いました。どちらの調理も  
好きな食材を盛りつけし、自分だけのオリジナルピザ、パフエを作り、調理を楽  
しんでいました。もちろん、味もばっちりです、たくさんおかわりしていました。

他に、正月行事として、干本引き、鶴玉、いもくじ、大王くじを行いました。  
児童達は、何の景品が当たる、どの大きさのおやつが当たるかわくわくしながら  
くじや干本引きを引きました。くじを引いた後は、お菓子を食べて「おいしー」  
と笑顔で話したり、干本引きの景品をお互いに見せ合ったりしていました。児童  
達にとっても楽しいイベントとなつて良かったと思います。

今年の冬休みは、体調不良者が出ることなく、健康で充実した冬休みを過ごす  
ことができました。これからも職員一同で児童達が楽しく過ごせるよう取り組ん  
でいきたいと思ひます。

